

< Bコース①仕事と介護の両立推進事業 >

2017年1月25日

公益財団法人ケア・インターナショナルジャパン

企業名	公益財団法人ケア・インターナショナルジャパン
所在地	東京都豊島区目白2-2-1目白カルチャービル5階
業種	サービス業（他に分類されないもの）
常用労働者数	11人
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・途上国開発支援</li> <li>・災害時の人道支援</li> </ul>
ホームページ	www.careint.jp.org
1 ニーズ調査	
①実施日及び実施方法	平成28年12月5日、オンラインアンケートの依頼
②対象者数、回収数、回収率	対象者11名、回収数11名、回収率11/11=100%
③調査結果概要（調査により明らかになった課題）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 介護を経験したことのある職員は半数ほどいるが、現在、介護に携わる職員はいない。</li> <li>・今後の従業員の介護見込みについて 今後介護に従事する可能性があると答えた職員は、「少しある」を含めると約70%、将来の介護従事者は職員本人という回答が約半数にのぼり、将来介護に従事する可能性のある職員の割合は3分の1以上とかなり高い数字であった。</li> <li>・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 約20%の職員が「制度はあるが内容は知らない」と回答。更に半数以上の職員が「制度があるかわからない」と回答した。介護関係の規程が職員に周知されていないことが明らかとなった。</li> <li>・仕事と介護の両立に関する不安について 約9割の職員が介護への不安を感じていることが明らかになった。不安な内容としては、「介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくいこと」が85%と最も高く、ついで、「公的介護保険の仕組みがわからないこと」「…どのような状態になるのか予想がつかない」という漠然とした不安を抱えていることが明らかになった。また、介護をしながら勤務を続けることができるか「わからない」という回答が75%となり、「続けられると思う」という回答は0であり、回答した全員が将来の仕事と介護の両立に不安を感じている。</li> <li>・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 介護休業や短時間勤務制度などを利用しながら仕事と介護を両立することを望ましく思っている職員が80%以上を占めた。現行の介護休業や短時間勤務制度の更なる整備や社員への周知に加え、その他の両立支援制度の制定を検討していくことが必要である。</li> </ul>
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況	
①設置日・メンバー	平成29年1月12日プロジェクトチーム設置。 メンバー：財務総務部長、マーケティング部職員1名、計2名（うち都内正社員2名）
②運営の状況（開催日、検討内容及び参加者数）	<p>平成29年1月12日 活動内容及びスケジュールの確認（2名参加）</p> <p>平成29年1月18日 アンケート集計結果の分析、取組計画案の検討（2名参加）</p> <p>平成29年1月23日 取組計画の決定（2名参加）</p>

### 3 策定した取組計画（内容及び取組時期）

平成28年度：ハンドブックやリーフレットを作成し、仕事と介護の両立に関する基本情報や当財団の既存支援制度の情報を提供し、相談しやすい環境づくりを行う。（年2回程度）

平成28年度～29年度：介護相談員が介護や仕事との両立支援に関する情報収集を行い、職員へ情報提供を行う。（年2回程度）